

令和3年度

事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

学校法人 志學館学園

目 次

I 建学の精神	P.1
II みおしえ	P.1
III 志學館学園の概要	P.2～10
1. 各学校の基本理念等	P.2～3
(1) 志學館大学	P.2
(2) 鹿児島女子短期大学	P.2
(3) 志學館高等部・中等部	P.3
(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園	P.3
(5) なでしこ保育園	P.3
2. 志學館学園の沿革	P.4～5
3. 志學館学園の組織	P.6
4. 各学校等の所在地	P.6
5. 志學館学園の役員	P.7
6. 各学校の状況	P.8～10
(1) 令和3年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数	P.8
(2) 令和4年度 入学定員・入学者数	P.9
(3) 令和3年度 教職員数	P.10
IV 令和3年度 学校法人志學館学園 事業報告	P.11～27
1. 令和3年度短期事業計画の進捗状況	P.11
2. 令和3年度短期事業計画の具体的な取組内容	P.12～16
(1) 志學館大学	P.12
(2) 鹿児島女子短期大学	P.12～13
(3) 志學館高等部・中等部	P.13～14
(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園	P.14
(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園	P.14
(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園	P.15
(7) なでしこ保育園	P.15
(8) 学園本部	P.16
(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況	P.16
3. 令和3年度設置校別事業計画達成度評価	P.17～27

V 財務の概要	P.28～38
1. 令和3年度決算の概要	P.28～30
① 事業活動収支計算書関係	P.31
② 資金収支計算書関係	P.32～33
③ 貸借対照表関係	P.34
2. その他	P.35
3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分	P.36
4. 学校法人会計及び用語について（解説）	P.37
5. 監査報告書	P.38

I 建学の精神

「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」

- 「時代に即応した」とは、情勢の変化に対応して、合理的で効果的、かつ弾力的な運用を図るべきことを意味する。
- 「堅実にして」とは、人間としての教養・徳をつけること、つまり人間としての豊かさ等を意味していると解釈する。
- 「有為な人間」とは、豊かな人間性の上に、健康な体、強い意志、創造力と企画力、集団への適応と貢献の能力、科学や情報に対する理解と技術、国際人としての教養等を身につけ、国家・社会の発展に寄与しうる人間、即ち「実用」と「教養」を実現できる総合力を身につけた人間をさすものである。

II みおしえ

雪のごとく清らかに

月のごとく明らけく

花のごとく撫子の強くやさしく

創設者満田ユイは、「建学の精神」を具体的に実践する時の心構えとして親しみやすく理解するようにと、中国の詩人、白居易の詩を引用し、それになぞらえて「みおしえ」とした。根底に「人間愛」を含んだ上で、詩にある「雪、月、花」になぞらえて、雪は「清浄と貞節」を、月は「聡明な明るさと静寂」を、花は「大和撫子を現し、日本女性の美德とやさしさと芯の強さを現すもの」として説明した。

しかし、1986年「建学の精神」の改訂を機に、今ではその女性的な文体表現にかかわらず「清く、明るく、強く、やさしく」というその内容が人間としての在り方、人の美しい生き方を表すものとして脈々と学園に継承されている。

現在「雪、月、花」は「建学の精神」を具体的に実践する時の心根を象徴するものとして、学園章・校章・学園旗及び校旗となっている。

Ⅲ 志學館学園の概要

1. 各学校の基本理念等

(1) 志學館大学

【使命】

教養と実践的な専門の学芸を体系的に教授研究し、科学的・論理的思考法、現代社会に必要な技能及び総合的な問題発見・課題解決能力を身につけ、自主性・創造性と社会に貢献する態度・志向性を持っている堅実・誠実な職業人を育成する。

【ディプロマ・ポリシー】

- 1 個性的かつ堅実な人間性、自主性、創造性が身につけている。
- 2 人類の文化、社会と自然に関する豊かな教養と科学的・論理的思考法、情報処理技術、コミュニケーション能力を身につけ、自ら学ぶことの喜びを知っている。
- 3 実践的で体系的な専門的知識と技能を身につけ、総合的な問題発見・課題解決能力を持っている。
- 4 職業観を持ち生涯学習し続ける能力を有している。
- 5 倫理観を持った市民として地域社会の発展に貢献する高い意識を持っている。
- 6 多様な言語・社会・文化を理解し、国際人として活躍する素地を持っている。

(2) 鹿児島女子短期大学

【教育理念】

建学の精神の下、学園の伝統を継承しつつ、最新の知識と専門の学芸を教授研究し、創造力・実践力に富み、家庭に社会に個人の持つ可能性を具現できる高い教養と人間性豊かな女性を育成するとともに、国際的視点に立って社会の充実発展に寄与する人材の育成に努める。

【教育目標】

- 1 豊かな情操と高い教養を培い、心身ともに健康で調和のとれた人間像を目指して自己啓発を促す。
- 2 現代生活に即した専門的知識と実践的スキルを習得させ、自ら課題に対応する能力と創造性の発揚に努める。
- 3 人間関係に適切に対応し得る能力を養成し、その能力を円滑に機能させる社会性を培う。
- 4 自ら判断し行動する主体性を涵養し、家庭や職場の有為な人材の育成に努める。
- 5 地域との密接な連携に基づく実践的教育により、地域活性化の意欲的な担い手の育成を目指す。
- 6 国際理解の教養と態度を育成し、洗練された国際人となる素地を習得させる。

(3) 志學館高等部・中等部

【教育理念】

清新な発想のもとに「たしかな学力、ゆたかな人間性、たくましい行動力」を身につけた心身ともに健やかな人間を育成する。

【教育方針】

男女共学の進学校として学力開発と人間性開発を推進し、個性の伸張を図るとともに高い教養、豊かな情操を養い、意欲と情熱をもった自己教育力のある人間を育成する。

(4) 鹿児島女子短期大学附属 かもめ幼稚園・なでしこ幼稚園・すみれ幼稚園

【教育目標】

一人ひとりの幼児の個性を伸ばし、豊かな心情や主体性・創造性を育て、心身ともに健全な人間の生きる力の基礎を培う。

【めざす幼児の姿】

げんきであかるい子 なかよくあそぶ子 よくかんがえくふうする子

(5) なでしこ保育園

【保育方針】

- 1 一人一人を大切に丁寧な保育を行い、自立した生活習慣を身につけ、健康な体、豊かな情緒、素直な表現力をもてる子どもの育成に努める。
- 2 身近な環境や自然と触れ合う中で豊かな感性を育み、創造力をふくらませ、友達との関わりの中で秩序や協調性をもてる子どもの育成に努める。

【保育の目標】

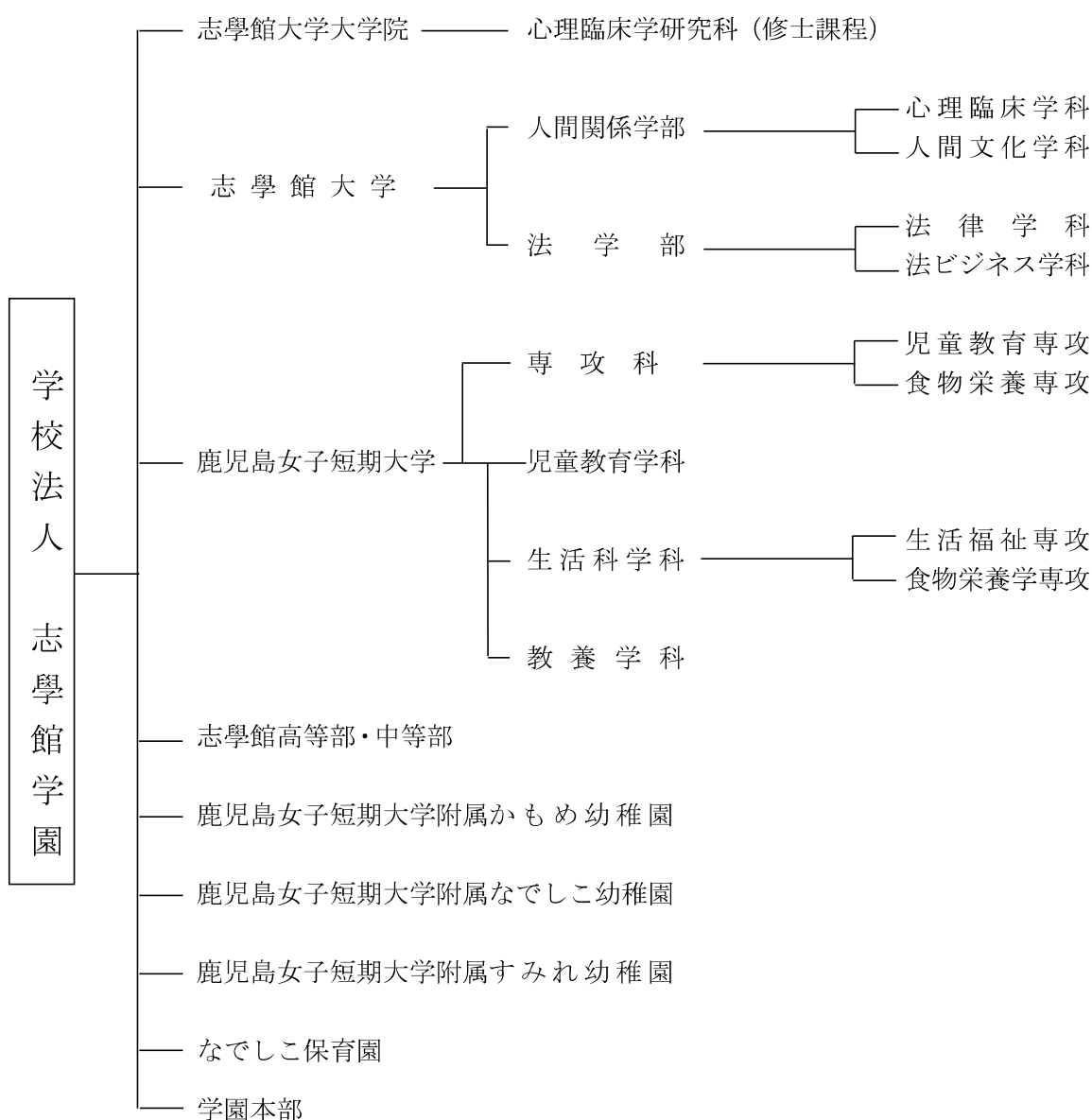
「一人一人を大切に感性豊かな子ども」の育成を目指す。

2. 志學館学園の沿革

明治	40年	8月	鹿児島女子手藝伝習所開設
	41年	2月	鹿児島女子技藝學校設置認可
大正	15年	6月	鹿児島女子技藝學校の名称を鹿児島高等實踐女學校と改称認可
昭和	23年	4月	学校教育法第1条に定める高等学校に昇格、鹿児島実践女子高等学校と改称
		4月	財団法人実践学園設立認可
	26年	2月	財団法人の組織を変更し、私立学校法に定める学校法人実践学園設立認可
	31年	4月	鹿児島実践女子高等学校全日制普通科開設
	35年	4月	鹿児島実践学園幼稚園教員養成所開設（昭和41年3月31日廃止）
	38年	5月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園設置認可
	40年	1月	鹿児島実践女子高等学校附属かもめ幼稚園を鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園と改称認可
		4月	鹿児島女子短期大学開設（幼児教育科）
	41年	4月	鹿児島女子短期大学家政科開設
	42年	4月	鹿児島女子短期大学教養科開設
	42年	12月	鹿児島女子短期大学家政科を食物栄養学専攻、家政専攻に専攻分離認可
	43年	4月	鹿児島女子短期大学幼児教育科を児童教育科に改称
		4月	鹿児島実践女子高等学校に食物科設置
	46年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育科を児童教育学科とし、その専攻を初等教育学専攻、幼児教育学専攻。家政科を家政学科とし、その専攻を家政学専攻、食物栄養学専攻。教養科を教養学科とし、それぞれ学科名、専攻名を名称変更
	49年	4月	鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園開設
	50年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科の専攻を被服学専攻、家政学専攻、食物栄養学専攻に分離変更
	54年	4月	鹿児島女子大学文学部（国文学科・英文学科・人間関係学科）開設
	58年	4月	鹿児島実践女子高等学校の校名を鹿児島女子大学附属高等学校と改称
	61年	4月	鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園開設
	62年	4月	志學館中等部開設
	63年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科（児童教育専攻・家政専攻・食物栄養専攻・教養専攻）開設
平成	1年	4月	鹿児島女子短期大学家政学科を生活科学科に名称変更
	2年	4月	志學館高等部開設
	4年	4月	鹿児島女子大学文学部英文学科を英語英文学科に改称

7年	4月	鹿児島女子短期大学専攻科家政専攻を生活科学専攻に改称
11年	4月	学校法人実践学園を学校法人志學館学園と改称
	4月	鹿児島女子大学を志學館大学と改称し、法学部法律学科を開設
	4月	鹿児島女子短期大学生活科学科に生活福祉専攻を開設
	4月	鹿児島女子大学附属高等学校を鹿児島学芸高等学校と改称
15年	4月	志學館大学文学部を募集停止し、人間関係学部心理臨床学科・人間文化学科を開設
17年	4月	志學館大学大学院心理臨床学研究科（修士課程）設置
18年	3月	鹿児島学芸高等学校廃止
19年	4月	学校法人志學館学園 なでしこ保育園開設
20年	4月	志學館大学法学部法ビジネス学科開設
21年	4月	鹿児島女子短期大学を鹿児島市紫原から鹿児島市高麗町へ移転
22年	4月	鹿児島女子短期大学児童教育学科の専攻を廃止し学科に統合
23年	4月	志學館大学を霧島市隼人町から鹿児島市紫原へ移転
31年	3月	鹿児島女子短期大学生活科学科生活科学専攻及び専攻科生活科学専攻を廃止

3. 志學館学園の組織



4. 各学校等の所在地

- | | |
|-------------|-----------------|
| ・志學館大学 | 鹿児島市紫原1-59-1 |
| ・鹿児島女子短期大学 | 鹿児島市高麗町6-9 |
| ・志學館高等部・中等部 | 鹿児島市南郡元町32-1 |
| ・かもめ幼稚園 | 鹿児島市紫原1丁目19-20 |
| ・なでしこ幼稚園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・すみれ幼稚園 | 鹿児島市皇徳寺台4丁目44-1 |
| ・なでしこ保育園 | 鹿児島市明和2丁目41-1 |
| ・学園本部 | 鹿児島市高麗町5-27 |

5. 志學館学園の役員〔令和4年3月31日現在〕

*理事 7人以上9人以内 現員8人

役員名	勤務	氏名	現職
理事長	常勤	志賀 啓一	志學館学園理事長
理事	〃	志賀 壽子	志學館学園学園長
〃	〃	松岡 達郎	志學館大学学長
〃	〃	阿部 哲郎	志學館学園本部事務局長
〃	〃	村若 修	鹿児島女子短期大学副学長
〃	非常勤	清水 昭雄	志學館大学前学長
〃	〃	若松 伸一	株式会社ワカマツ自動車代表取締役
〃	〃	吉田 健朗	株式会社南日本総合サービス代表取締役社長

*監事 2人又は3人 現員2人

役員名	勤務	氏名	現職
監事	非常勤	大津 学	株式会社大津倉庫代表取締役社長
〃	〃	久永 修平	株式会社久永代表取締役社長

*評議員 17人以上19人以内（ただし、理事の2倍を超える人数）
現員 志賀 啓一 他16名

6. 各学校の状況

(1) 令和3年度 入学定員・収容定員及び学生・生徒・園児数

令和3年5月1日現在

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数	収容定員	在籍者数
志 学 馆 大 学	大 学 院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 10	人 20	人 21
	人間関係学部 (心理臨床学科) (人間文化学科)	200	220	770	884
		130	152	526	602
		70	68	244	282
	法 学 部 (法 律 学 科) (法ビジネス学科)	145	143	560	634
				336	442
			224	192	
	大学 計	355	373	1,350	1,539
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	199	420	387
	生活科学科 (生活福祉専攻) (食物栄養学専攻)	80	73	160	124
		20	12	40	19
		60	61	120	105
	教 養 学 科	80	91	160	152
	専 攻 科	40	0	40	0
	短大 計	410	363	780	663
志 学 馆 高 等 部		160	94	480	274
志 学 馆 中 等 部		120	79	360	251
か も め 幼 稚 園		—	—	260	221
な で し こ 幼 稚 園		—	—	240	157
す み れ 幼 稚 園		—	—	180	187
学 園 合 計		1,045	909	3,650	3,292

【附帯事業】

な で し こ 保 育 園		—	—	40	45
---------------	--	---	---	----	----

(2) 令和4年度 入学定員・入学者数

令和4年5月1日

学校名	学部・学科・課程名	入学定員	入学者数
志 學 館 大 学	大学院 (心理臨床学研究科)	人 10	人 15
	人間関係学部 (心理臨床学科)	200 130	206 137
	(人間文化学科)	70	69
	法 学 部	145	145
	大学 計	355	366
鹿 児 島 女 子 短 期 大 学	児童教育学科	210	210
	生活科学科	80	53
	(生活福祉専攻)	20	6
	(食物栄養学専攻)	60	47
	教 養 学 科	80	94
専 攻 科	0	0	
	短大 計	370	357
志 學 館 高 等 部		160	94
志 學 館 中 等 部		120	70

(3) 令和3年度 教職員数

令和3年5月1日現在

学校名	理事長	教育職員	事務職員等	合計
志 學 館 大 学		57	35	92
鹿児島女子短期大学		46	28	74
志 學 館	高等部	23	5	28
	中等部	23	6	29
	小 計	46	11	57
かもめ幼稚園		14	2	16
なでしこ幼稚園		11	2	13
すみれ幼稚園		12	2	14
学 園 本 部	1		15	16
合 計	1	186	95	282
なでしこ保育園			18	18
合計 (含む保育園)	1	186	113	300

* 上記は専任教職員数

IV 令和3年度 学校法人志學館学園 事業報告

平成28年度を初年度とする第3次経営計画「志學館未来計画2016-2021」は、各設置校及び学園本部において「基本計画」⇒「取組戦略」⇒「具体的な取組み内容」と計画から戦略へと展開し、6か年の行動の指針となる「施策」を策定したものです。令和3年度はその最終年度として、学園全体で367の事業計画を推進いたしました。

1. 令和3年度短期事業計画の進捗状況

◆ 評価結果

評価区分	S	A	B	C	D	小計	E	合計
(達成率)	100% ～	99%～ 80%	79%～ 50%	49%～ 20%	19%～ 0%	-	見直 施策	-
志學館大学	9	60	14	19	0	102	0	102
鹿児島女子短期大学	3	22	3	1	1	30	0	30
志學館高等部・中等部	6	25	14	1	0	46	1	47
かもめ幼稚園	1	13	6	4	0	24	4	28
なでしこ幼稚園	4	15	2	0	0	21	0	21
すみれ幼稚園	9	35	12	9	0	65	0	65
なでしこ保育園	3	5	6	0	0	14	4	18
学園本部	3	18	14	21	0	56	0	56
計	38	193	71	55	1	358	9	367

◆ 達成度

評価区分	S	A以上	B以上	C以上	D以上
志學館大学	9%	68%	81%	100%	100%
鹿児島女子短期大学	10%	83%	93%	97%	100%
志學館高等部・中等部	13%	67%	98%	100%	100%
かもめ幼稚園	4%	58%	83%	100%	100%
なでしこ幼稚園	19%	90%	100%	100%	100%
すみれ幼稚園	14%	68%	86%	100%	100%
なでしこ保育園	21%	57%	100%	100%	100%
学園本部	5%	38%	63%	100%	100%
計	11%	65%	84%	100%	100%

※施策を計画化し実行している「B」以上は、学園全体で84%となりました。

2. 令和3年度短期事業計画の具体的な取組内容

(1) 志學館大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・ 高大接続教育、導入教育の改善計画を確実に進め次期計画で取り組む施策を明確化
- ・ 教員の研究活動の質向上に係る担当委員会を組織し学術発表会を企画
- ・ FK テストを継続的に改善し教育成果の外的基準として活用した IR 報告書を作成
- ・ 実習単位認定の客観的指標を検証しコロナ禍対応の学外実習実施スキームを構築
- ・ 安全な留学生の受入及び派遣について社会情勢を見極めながらの検討を継続

《Ⅱ. 学生支援》

- ・ 高大接続教育センターを中心に学習力支援の取組導入に向けた方針を策定
- ・ Moodle 等教育活動を支援する情報基盤の整備と教員へのサポート体制の充実
- ・ コロナ禍に対応した進路支援プログラムの検証と改善を継続
- ・ 大学院及び学部生在学中の特待生制度の規程改正等に着手

《Ⅲ. 管理運営》

- ・ 内部質保証に向けた PDCA 制度と組織体制の点検及び評価を実施
- ・ 高大接続教育について高校との定期的な協議体制を構築

《Ⅳ. 学生受入》

- ・ 大学院の入試説明会を外部にも拡大して実施
- ・ 定員管理手法の改善を SD の題材として研修会を実施

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・ コロナ禍のため各事業の実施可能性を模索しながら推進
- ・ 履修証明課程、教育訓練指定講座を継続的に維持
- ・ 心理相談センター、発達支援センターの組織規程を改め担う機能を明確化

(2) 鹿児島女子短期大学

《Ⅰ. 教育・研究活動》

- ・ 児童教育学科の A L 推進、初年次教育の充実、キャリアガイダンスの改善を実施
- ・ 学習情報の公開、IR 情報の経年比較の例示や各部署の IR 情報に関する評価等を実施
- ・ 南地研による南九州、特に鹿児島に根差した研究が行われ、5 件の研究課題を採択
- ・ 教務委員会でアセスメントポリシー運用検討小委員会を設け検討を実施
- ・ 日本語演習Ⅲ・Ⅳ及び日本事情Ⅲ・Ⅳを開講し留学生教育の充実化を推進

《Ⅱ. 学生支援》

- ・ 学生満足度調査の結果を受け学生ホールの設備等の改善を実施
- ・ 例年より質問項目を充実させた学生満足度調査を実施

《Ⅲ. キャリア教育・進路支援》

- ・学科ごとの進路支援ガイダンス等において編入学に関する情報を提供
- ・希望する進路先の変化の有無や実際の就職先についての傾向の分析を実施

《Ⅳ. 学生受入（学生募集）》

- ・各種広告媒体、ダイレクトメール、SNS フォロワー数、交通広告などの効果を検証

《Ⅴ. 社会貢献》

- ・同窓会としての新たな試みとして行われた複数の卒業生の近況報告や料理教室の WEB 配信、卒業式のオンデマンド配信等の連携支援を実施
- ・「卒業生在籍事業所等へのニーズ・学生評価調査アンケート」を実施
- ・生涯学習講座として管理栄養士国家試験対策講座を 11 回開講

《Ⅵ. 管理・運営》

- ・年に 4 回のコンプライアンス研修会と定期的な自己評価を実施
- ・新型コロナ感染拡大防止策の適時・迅速な策定と実施
- ・事務局内において研修会参加報告を行って情報の共有や意識向上を推進

《Ⅶ. 施設・設備》

- ・学友会からの要望や学生満足度調査を参考にキャンパスアメニティを充実化
- ・トイレ改修の検討を行い次期経営計画の施設設備計画に策定
- ・寮施設整備の改善策としてレイアウト変更の計画と施設設備の充実を検討

(3) 志学館高等部・中等部

《Ⅰ. 進学校としての教育活動の推進》

- ・「Life in Shigakukan」の内容を検討し教育理念、教育方針の再確認と共通理解を実施
- ・各教科のシラバスの作成について検討を行い作成に着手
- ・習熟度授業を中等部 2 年から実施することとし実施基準を策定
- ・感染症対策を講じた学校行事の在り方を検討し適宜実施
- ・校内の GIGA スクール構想担当者を中心に ICT 活用の研修会を実施

《Ⅱ. 機能的な学校運営》

- ・校務分掌の引継ぎマニュアル作成を情報共有システムを活用し実施
- ・コロナ禍により外部研修が制限される中、オンライン型の研修を活用
- ・職員会議等を利用してコンプライアンス研修会を実施

《Ⅲ. 教育環境の充実》

- ・高等部教室に携帯用無線 LAN 機器を設置
- ・生徒の負担軽減策として通学費助成金制度を検討、導入

《Ⅳ. 生徒募集対策》

- ・生徒募集活動の一層の充実を図るため入試広報部を設立
- ・Instagram による情報発信を開始

《V. 学園内外との連携》

- ・前年度に引き続きコロナ禍の影響でクリーンアップ活動を制限

(4) 鹿児島女子短期大学附属かもめ幼稚園

《I. かもめ色の幼稚園教育の充実》

- ・文字習得に向けた指導方法の研究保育を全教員で実施

《II. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・新規採用教員の状況に応じた研修体制を構築
- ・コロナ禍により外部研修が制限される中、オンライン型の研修を活用

《III. 広報・募集活動の強化》

- ・ホームページによる広報活動を中心に情報発信を継続
- ・コロナ禍の影響で行事中止の際、代替として園児の様子を動画で配信

《IV. 設置校・地域との連携強化》

- ・コロナ禍の中姉妹園で情報を交換しながら幼稚園教育の施策を工夫
- ・保護者との日々の連携を重要視し本園教育の充実化を推進

《V. 運営の効率化》

- ・業務改善を図り職場環境の向上を推進
- ・年次頭と担任間の適時の情報共有策を推進

(5) 鹿児島女子短期大学附属なでしこ幼稚園

《I. なでしこ色の幼稚園教育の充実》

- ・「なでしこの森」を活用した園庭活動の充実化を推進
- ・課外活動の英会話教室の開設日を増加（週2回）

《II. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・夏季休業中の職員研修（補助職員含む）の充実化

《III. 広報・募集活動の強化》

- ・「モリーちゃん」オリジナル缶バッジを作成し募集活動に活用
- ・SNS（Instagram）を活用した広報を継続実施

《IV. 設置校・地域との連携強化》

- ・園内楽器研修会や三園夏季セミナーにおいて鹿児島女子短期大学教授を講師に招聘
- ・校区スクールゾーン委員会や小中連携部会への参加

《V. 運営の効率化》

- ・週報やクラスだより等の配布物の配布方法を改善
- ・各種行事運営のマニュアル化を継続

(6) 鹿児島女子短期大学附属すみれ幼稚園

《Ⅰ. すみれ色の幼稚園教育の充実》

- ・園児のつぶやきを保育に活かし「ほめる」場を意図的に設定
- ・小学校の学びや日々の生活につながる保育の実践を推進

《Ⅱ. 教職員の資質の向上と人材確保の強化》

- ・鹿児島市教委主催の初任研保育公開（全クラス公開保育）、幼保小研修会公開保育（年長2クラス公開）及び園内の保育研究（3回）を実施

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・ラジオ番組への出演、地元企業CMとのタイアップ等各種メディアを活用した広報を実施
- ・ホームページや園内掲示板を活用した日々の情報発信を実施

《Ⅳ. 設置校・地域との連携強化》

- ・地域作品展（作品展示・提供）との連携を図った教育課程の再編を実施
- ・コロナ禍のため参加型行事・活動の縮小、改善を実施

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・保育開始時刻を見据えたバス運行ルートを作成
- ・朝の預かりに対応する職員を配置

(7) なでしこ保育園

《Ⅰ. なでしこ色の保育園教育の充実》

- ・コロナ禍の中でも適切な対応をした上で保育計画を完全実施
- ・感染症対策を講じた上で子育てサロンを開催

《Ⅱ. 教職員の資質向上と人材確保の強化》

- ・園内研修の充実とオンライン研修の受講を推進
- ・保育士等キャリアアップ研修会へ積極的に参加

《Ⅲ. 広報・募集活動の強化》

- ・ホームページや園務管理システム「CoDMON」等による広報の実施

《Ⅳ. 設置校・地域社会との連携強化》

- ・同一敷地内のなでしこ幼稚園との共同行事を開催
- ・コロナ禍のため参加型行事・活動の縮小、改善を実施

《Ⅴ. 運営の効率化》

- ・園務管理システム「CoDMON」を活用した業務改善を推進
- ・定例化した行事の再構築を行い内容を充実化

(8) 学園本部

《Ⅰ. 「経営力」の強化》

- ・競争的補助金の採択にて収入増に寄与
- ・中高等部に令和4年度から施行する通学費助成金制度を新設
- ・募集対策WGの定例会議を8回開催し新たな取組を開始
- ・学園広報誌に変わるWeb媒体の広報を検討

《Ⅱ. 「組織力」の増強》

- ・年次有給休暇5日取得必置化を各種会議・監査等で周知徹底
- ・新型コロナウイルス感性症拡大時の対策として職員の時差出勤を実施
- ・モラルサーベイアンケート案を作成、令和4年度より活用予定

《Ⅲ. 「連携力」の構築》

- ・労働時間制度に関する検討部会、第4次経営計画WG委員会を組成し協議を実施
- ・幼稚園の業務改善を推進、保育料の口座引き落としを開始

《Ⅳ. 「環境力」の充実》

- ・志学館大学40周年記念館新築事業が竣工
- ・新型コロナウイルス感染症対策の志学館大学カフェテリア増床工事が竣工
- ・鹿児島女子短期短大に自動ドアを設置しバリアフリー化を推進
- ・建物診断カルテを活用した点検を実施、対応等を次年度予算に反映

《Ⅴ. 「改革力」の創出》

- ・学園所有地の有効活用策の検討を継続
- ・鹿児島女子短期大学において公共職業訓練長期高度人材養成コースの受入を実施

(9) 6か年施設設備投資計画事業執行状況

1. 志学館大学40周年記念館新築事業

- 40周年記念館本体新築（令和4年3月 竣工）

3. 令和3年度設置校別事業計画達成度評価

組織名称	志 学 館 大 学
------	-----------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 教育・研究活動	1 「学士力(人間力)」を保证する教育	① 人間力を保証する教育	9	1	5	2	1			9
		② 教育課程・方法の検証	9		7	1	1			9
	2 皆資格・高資格を目指す教育	① 教職課程の充実	1		1					1
		② 資格センターの充実	1		1					1
		③ 新たな国家資格への対応と準備	4		3		1			4
	3 研究活動の充実	① 教員の研究活動の質向上	1		1					1
		② 地域課題解決に向けた研究活動の推進	1			1				1
	4 大学院教育の充実	① 大学院教育の充実	3	1	2					3
	5 国際交流・多様なニーズへの対応	① 国際交流文化の醸成	3			1	2			3
		② 留学生および社会人教育の在り方の検討	1				1			1
II 学生支援	1 学修・適応支援の強化	① 学生支援体制の充実	8		7	1				8
		② ICT活用による学生支援システムの構築	0							0
	2 学修環境の整備	① 教育環境の整備	3		2	1				3
		② 学生アメニティの向上	1	1						1
	3 進路支援の強化	① キャリア教育の支援と充実	1			1				1
		② 進路支援体制の充実	2		2					2
	4 学生生活支援	① 学生生活支援	2	1	1					2
	III 管理運営	1 大学諸制度の検証と再構築	① 学教法以下の国の制度に合致した学内制度の確立	1		1				
② 内部質保証のための制度の整備			3		3					3
③ 高大接続のあり方の検討			2		2					2
④ 大学諸制度の検討			2		2					2
2 組織力向上とガバナンスの強化		① 業務効率化	5		5					5
		② リスク管理とコンプライアンスの強化	3	1	2					3
3 IRの推進		① 情報集約・分析とその有効活用	2	1	1					2
		② 種々の学生調査等の実施	1		1					1
		③ 学生要望調査等のフィードバック	1		1					1
4 情報基盤の整備		① セキュリティ強化	1		1					1
		② 環境変化に対応した情報基盤のアップデート	1		1					1
		③ リスク管理とコンプライアンスの強化	0							0
5 大学資源の有効活用		① 多目的施設の整備に関する検討	2	1	1					2
		② 施設の有効利用の推進	1		1					1
6 40周年記念行事の推進		① 40周年記念行事の確実な進捗	0							0
IV 学生受入		1 入学定員の充足	① 広報力の強化	4	1	2	1			
	② 募集活動の強化		3		2	1				3
	2 設置校間連携	① 志学館中高等部との連携の強化	1				1			1
		② 鹿児島女子短大との連携の強化	2				2			2
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 後援会連携	1			1				1
	4 入学定員の管理	① 入学者選抜の確実化	1	1						1

組織名称

志 学 館 大 学

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
V 社会貢献	1 地域貢献	① 地域協働センター活動の充実	2				2			2
		② 生涯学習センター活動の充実	3		1	2				3
		③ 心理相談センター及び発達支援センター活動の充実	2		1	1				2
		④ 地域社会への教育課程の開放	1				1			1
	2 地域に根差した大学作り	① 自治体・企業・団体等との連携	4				4			4
		② 地域課題への積極的な取組	1				1			1
	3 ステークホルダーとの連携強化	① 同窓会連携	1				1			1
		② 後援会連携	1				1			1
	計			102	9	60	14	19	0	0

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 教育・研究活動	1 「学びの質」の向上	① 「主体的な学び」の推進	4		4					4
		② 学習支援・履修指導の充実	0							0
		③ きめ細かい実習指導の実現	1		1					1
		④ 研修の充実	0							0
	2 教育課程の検証と見直し	① カリキュラム・ポリシーの検証	0							0
		② 教養教育の検証	1	1						1
	3 教育方法の検証	① 学びの可視化の検証	2			1		1		2
		② IRの推進	1		1					1
	4 地域の担い手育成教育の推進	① COC科目の充実	1		1					1
		② 地域との連携教育の充実	1		1					1
		③ 地域貢献活動の促進	0							0
	5 グローバル化への対応	① グローバル化を意識した教育の充実	0							0
		② 海外研修の充実	1				1			1
	6 研究活動の充実	① 地域の特性を生かした研究の促進	1		1					1
② 学科教員による共同研究の促進		1		1					1	
II 学生支援	1 多様な学生に対する支援の充実	① 多様な学生に対する支援の充実	2	1	1					2
	2 教員の「教師力」の向上	① 教員の「教師力」の向上	0							0
	3 特待生・奨学生制度の充実	① 特待生・奨学生制度の充実	0							0
III キャリア教育・進路支援	1 キャリア教育・支援の充実	① キャリアガイダンス	1		1					1
		② インターンシップ	0							0
	2 進路支援の充実	① 公務員、教員採用試験、進学対策の支援	0							0
		② 資格取得支援	0							0
		③ 報奨制度の検討	0							0
④ 進路に関する調査と分析	1		1						1	
IV 学生受入（学生募集）	1 高大接続改革の動きへの適切な対応	① アドミッション・ポリシーの精緻化	0							0
	2 入学定員の充足	① 外部環境の変化に対する適切かつ柔軟な対応	0							0
		② 志学館大学との連携	0							0
		③ マーケティングを活用した募集活動の効率化	0							0
	3 広報活動の充実	① 広報活動の充実	1	1						1
4 学生受入に対する多様なニーズへの対応	① 学生受入に対する多様なニーズへの対応	0							0	
V 社会貢献	1 地域貢献	① 公開講座の充実	0							0
		② ボランティア活動の推進	0							0
	2 地域創生・連携	① 自治体・企業・団体等との連携	0							0
		② 他大学等との連携	0							0
	3 各設置校との連携	① 附属幼稚園・なでしこ保育園との連携	1			1				1
		② 志学館大学との連携	0							0
	4 卒業生との連携	① 同窓会との連携	1		1					1
		② リカレント教育の実施	1		1					1
③ 卒業生に対する調査と分析		1		1					1	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
VI 管理・運営	1 政策・制度変更等への的確な対応	① 政策・制度変更等への的確な対応	1		1					1
	2 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	① 業務改善・効率化の推進による業務生産性の向上	0							0
	3 組織体制の検証	① 組織体制の検証	1		1					1
	4 FD・SDの推進と学内研修体制の充実	① FD・SDの推進と学内研修体制の充実	1		1					1
	5 ガバナンスの充実	① 教職協働体制の推進	0							0
		② コンプライアンスの徹底	1		1					1
6 危機管理体制の充実と高度化	① 危機管理体制の充実と高度化	1			1				1	
VII 施設・設備	1 安全かつエコロジカルな機能性の高い施設・設備の整備	① 学生満足度を高めるアメニティの整備の検討	1		1					1
		② バリアフリー化の整備の推進	0							0
		③ 学生寮の充実	1		1					1
	2 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	① 施設・設備の計画的な営繕・リプレイスの推進	0							0
		3 ICTの高度化	① ICT環境の充実	0						
	② 学生・教職員のICTスキル向上		0							0
計			30	3	22	3	1	1	0	30

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 進学校としての教育活動の推進	1 教育理念・教育方針の再確認	① 教育理念・教育方針の再確認と明確化	1		1					1
		② 教職員間における教育理念と方針の共通理解	0							0
		③ 教育理念を支えるコア教科の作成	1		1					1
	2 中高一貫校の特性を活かした教育課程の実施	① これからの6ヵ年教育を見据えたカリキュラムの作成	1			1				1
		② 教育方針に基づいたシラバスの作成	3		2				1	3
		③ 習熟度に応じた指導体制の強化	5		5					5
		④ 高等部入学者への指導体制の改善	0							0
		⑤ 勉学と部活動のバランス最適化	0							0
		⑥ 新学習指導要領等への対応の研究	1		1					1
	3 学力開発・人間性開発の発展	② 学校行事の整理および体系化	1	1						1
		③ LHR・SDPの在り方と一貫性のある指導の確立	0							0
		④ アクティブラーニング実施に向けての研究	3			3				3
		⑤ いじめ防止の徹底	2		2					2
		① 教員のICTを活用した教材・授業の研究	2	2						2
	4 ICTを活用した教育の確立	② 模試成績におけるデジタルコンテンツの活用	2		2					2
		③ 受験サプリ等外部教材の導入検討	0							0
		① 留学生受入体制の組織化	0							0
	5 国際化に対応した教育指導体制の研究	② 新テストに対応した英語の指導体制の構築	1			1				1
		③ SDP国外体験学習の研究	0							0
		④ 短期留学プログラムの研究	0							0
		⑤ ディベート・英作文指導に対応した外国人雇用の検討	0							0
		① 外部教材の活用	1		1					1
	6 キャリア教育の充実	② ライフスキル教育の導入検討	1			1				1
		③ インターンシップの研究	1			1				1
④ 後援会の活用		0							0	
① 校務分掌の再組織化		0							0	
II 機能的な学校運営	1 校務分掌の検証と役割分担の明確化	② 各部の校務再検討	2		2					2
		① 情報共有システムの活用	4		2	2				4
	2 情報共有の徹底による業務の効率化	② 各部門の情報共有の徹底	1		1					1
		③ 情報・書類などの電子化	0							0
		① 教育環境充実に図るための教員増員の検討	0							0
	3 教職員の配置	① 奨学金制度の検証と構築	0							0
		② 特待生制度の検証と構築	0							0
	4 各種制度の検証と構築	① 研修部門の活性化	0							0
		② 教職員のスキル向上のための研修制度の充実	3			3				3
	5 教職員研修制度の充実による教職員のスキル向上	① 学校評価制度の充実	0							0
		② 授業評価制度の充実	0							0
	6 各種評価制度の充実	① コンプライアンスの確認と徹底	1		1					1
		② 危機管理の徹底	0							0
	7 学校運営に関する意識の向上	③ 機密保持意識の浸透	0							0

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価							
				S	A	B	C	D	E	計	
Ⅲ 教育環境の充実	1 ICT機器の導入および研究	① 教育用視聴覚機器等の設置	1		1						1
		② 教職員用の電子端末導入	0								0
		③ ICTの研究部門の設立	2		2						2
	2 学内諸施設及び機器の整備	① 情報共有システムの更新	1			1					1
		② 学校施設の整備	0								0
		③ スクールバス運行体制の検証	1	1							1
	3 インクルーシブ教育環境の整備	① インクルーシブ教育環境の研究	0								0
		② 教員・生徒の意識向上	0								0
	4 職員福利厚生の充実	① 職員福利厚生設備の整備	0								0
		② 職員福利厚生制度の検証	1			1					1
5 寮設備の整備	① 寮のアメニティの向上の検討	0								0	
Ⅳ 生徒募集対策	1 入試制度の再検討	① 高等部募集の再検討	1		1						1
	2 広報部門の見直し	① 広報部門専任者の配置	0								0
		② 学校訪問の在り方の検証と構築	0								0
	3 効果的な広報戦略の研究と実践	① 学校説明会の検証と構築	0								0
		② 生徒目線のオープンスクールの研究と実施	0								0
	4 保護者満足度の向上	① 学内情報の広報活動強化	1	1							1
② 保護者と担任・学年主任との連携強化		1	1							1	
Ⅴ 学園内外との連携	1 生徒寮生活の充実	① 寮の指導体制の検証と構築	0								0
		② チューターの配置検討	0								0
	2 同窓会・後援会との連携	① 同窓会・後援会との連携強化	0								0
		② 卒業生の人材活用	0								0
	3 設置校との連携	① 設置校の施設の利用促進	0								0
		② 設置校との人材交流の活発化	0								0
	4 外部機関との連携	① 県・大学との連携の研究推進	0								0
		② 塾・予備校との連携の検討	0								0
	5 地域との関係強化	① 地域への学校行事の広報活動強化	0								0
		② 地域清掃の継続実施	1				1				1
③ 体育館等の施設開放の検討		0								0	
計			47	6	25	14	1	0	1	47	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I かもめ色の幼稚園教育の充実	1 預かり保育の充実	① 預かり保育の充実	0							0
	2 ICT教育の充実	① ICT教育機器の導入と活用の検討	0							0
	3 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の教育内容の充実	2	2						2
		② ニーズの合致した課外教室の開設	0							0
II 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若手教職員の力量形成	2		1	1				2
		② 園内外研修の充実	2		1	1				2
	2 教職員研修の充実	① ICT活用教育研修の充実	0							0
		② 接遇研修の充実	2		2					2
III 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した広報の展開	① 幼稚園教育と預かり保育の複合的な効果の広報	1			1				1
		② 充実した施設の広報	1		1					1
		③ 園の保育方針の広報	2		1	1				2
	2 新たな広報戦略の検討	① ホームページ・LINE・Facebook・メディア等の媒体を活用した新たな広報戦略の検討	2			1	1			2
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「かもへいくん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1		1					1
IV 設置校・地域との連携強化	1 地域との連携強化	① 子育て支援などによる社会貢献の推進	2		1		1			2
		② 職場体験の継続的受け入れによる幼稚園教育普及の推進	1						1	1
		① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	0							0
	2 設置校・姉妹園との連携強化	② 三園合同行事・研究等の検証と構築	1				1			1
		③ 小中高等学校・短大・大学との連携強化	3				1		2	3
	4 保護者・卒園生との連携強化	④ 幼稚園教育の施策や地域・他園の情報収集の強化	1			1				1
		① 卒園生との連携強化	1						1	1
② 保護者との連携強化	1		1						1	
V 運営の効率化	1 職場環境の充実	① 一体感のある組織風土の醸成	2	1	1					2
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	1		1					1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	0							0
	2 定例化した行事の検証と構築	① 定例化した行事の検証と構築	0							0
計			28	1	13	6	4	0	4	28

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価								
				S	A	B	C	D	E	計		
I なでしこ色の幼稚園教育の充実	1 課外教室教育の特色化	① 課外教室の再検証とニーズに合致した教室の開設	1		1						1	
	2 環境を生かした体験型教育の充実	① なでしこの森を生かした自然体験活動や行事の充実	0								0	
	3 特別支援児・2歳児へのサポート体制の確立	① 支援補助対象認定手続きサポート	1		1							1
		② 支援補助体制の検証と構築	1			1						1
	4 就学を意識した教育の充実	① 文字習得や楽器演奏等の就学を意識した教育内容の編成	0									0
II 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 資質向上を目的とした教職員研修体制の構築	3		3						3	
		② 複数担任制の体制構築と導入の検討	0								0	
	2 人材確保の強化	① 優秀な教諭の人材確保	2		2						2	
		② 新規採用教諭への指導体制のマニュアル化	1			1					1	
III 広報・募集活動の強化	1 2歳児受入の促進	① 2歳児へのサポート体制の確立と広報	2		2						2	
	2 ICTを活用した幼稚園教育の情報発信	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2	2							2	
		② 広報誌・お便り・説明会の充実	1	1							1	
		③ 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1	1							1	
	3 自園給食を生かした広報活動の強化	① 自園給食メニューのホームページへの掲載による広報活動	1	1							1	
	4 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「モリーちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1	1							1	
		5 園児送迎バスの郊外運行の充実	① 送迎バス増台による路線の強化	1	1							1
	② ラッピングバスによる広報強化		0								0	
IV 設置校・地域との連携強化	1 附属幼稚園教育の推進	① 鹿児島女子短期大学の人材・施設・情報を連携・活用した附属幼稚園教育の推進	0								0	
		② 附属幼稚園と鹿児島女子短期大学の連携体制の検証	0								0	
	2 小中学校・地域との連携強化と地域行事への積極的参加	① 連絡会・連携研修会等への出席	2	2							2	
		② 地域行事への積極的参加	0								0	
3 附属三幼稚園合同研究・活動の充実	① 三園合同行事・研究等の精査選別	1	1							1		
V 運営の効率化	1 保護者参加型の行事の検証と充実	① 共働き世帯が参加しやすい保護者行事の検討	0								0	
	2 行事・活動の精査選別とマニュアル化	① 行事・活動の精査選別とマニュアル化	0								0	
	3 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	① 教材・教具作成の効率化のためのマニュアル化	0								0	
	4 職場環境の充実	① マンパワーの充実	0								0	
② ICTを活用した職場環境の充実		0								0		
計			21	4	15	2	0	0	0	0	21	

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ すみれ色の幼稚園教育の充実	1 主体的学びの芽生えを育む保育の推進	① 主体的学びの芽生えを育む園児の姿の設定	1		1					1
		② 主体的学びの芽生えを育む教育課程の編成と実施	5	1	4					5
		③ 主体的学びを育てる保育方法の研究と実践	3		3					3
		④ 就学（小学一年生）を意識した教育の計画と実践	2	1	1					2
		⑤ 主体的学びを生かす環境の醸成	4	1	3					4
		⑥ 特別に支援を要する園児教育体制の充実	6	1	5					6
Ⅱ 教職員の資質の向上と人材確保の強化	1 教職員の資質の向上	① 園内研修体制の充実	1	1						1
		② 園外研修体制の充実	3		2	1				3
	2 人材確保の強化	① 優秀な人材の確保	2		2					2
		② 新規採用教諭への指導体制の強化	3		1	2				3
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 広報活動の強化	① 「幼稚園教育の良さ」を発信する広報活動	1		1					1
		② すみれ幼稚園の特色を生かした広報	2	2						2
		③ 保護者とともに成長する子供の姿の広報	2		2					2
		④ 幼稚園の見える化を意識した広報	2	1	1					2
		⑤ 認定手続き不要・就園奨励費補助金等の広報	1		1					1
	2 募集活動の強化	① 体験入園等による保育体験の提供	6			5	1			6
	3 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「すみれちゃん」オリジナルグッズ等による募集広報活動の強化	1	1						1
Ⅳ 設置校・地域との連携強化	1 保護者との連携	① 後援会活動の活性化	1			1				1
	2 鹿児島女子短期大学との連携	① 附属幼稚園と短大の連携体制の検証	0							0
		② 附属幼稚園としての職員の認識の向上	1			1				1
		③ 短大イベントへの積極的参加	1				1			1
		④ 保護者と実習生との関係強化	3				3			3
	3 地域との連携	① 未就園児クラブを活用した地域へのアプローチ	1				1			1
		② 運動会等の地域参加型活動の強化	4		1	1	2			4
	Ⅴ 運営の効率化	1 組織の改善	① 複数担任制の導入検討	1		1				
② 報告・連絡・相談の徹底			1		1					1
2 預かり保育の改善		① 早朝預かり保育の受け入れ体制の確立	1		1					1
		② バスキャッチ導入による預かり保育体制の構築	1		1					1
3 送迎バス運営の改善		① 他園の送迎状況の調査	1		1					1
		② 送迎エリアの見直しによる運行状況の改善	1		1					1
4 職場環境の充実		① マンパワーの充実	1			1				1
		② 職員の職場環境の充実	1		1					1
		③ ICTを活用した職場環境の充実	1				1			1
計			65	9	35	12	9	0	0	65

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
Ⅰ なでしこ色の保育園教育の充実	1 保育の充実と差別化	① 少人数担当保育の充実	1		1					1
		② 保育園から幼稚園への連動体制の構築	1			1				1
	2 子育て支援体制の充実	① 職員・専門員による在園保護者向けの子育て相談窓口の開設	1			1				1
		3 地域に密着した保育園教育の充実	① 地域向け子育てサロンの開設	1			1			
	② 保護者参加型の未就園児半日体験入園の開催		1		1					1
Ⅱ 教職員の資質向上と人材確保の強化	1 教職員の資質向上	① 若年保育士の研修体制のマニュアル化	1	1						1
		② 学園内外研修への積極的参加	1		1					1
	2 人材確保の強化	① 実習生サポート体制の充実	1					1	1	
		② サマーボランティア体制の充実	1					1	1	
		③ 鹿児島女子短期大学学生への説明会や見学会の実施	1			1				1
Ⅲ 広報・募集活動の強化	1 ICTを活用した情報発信の強化	① ホームページ・LINE・Facebook等の情報媒体の活用	2	1	1					2
	2 オリジナルグッズによる募集広報活動の強化	① 「なほちゃん」オリジナルグッズ等を活用した募集広報活動の強化	1			1				1
Ⅳ 設置校・地域社会との連携強化	1 本部・設置校との連携強化	① 本部・設置校との連携強化	1			1				1
	2 地域との連携強化に向けたイベントの充実	① 保育所地域活動事業の開催	1					1	1	
		② ボランティア月間の実施	1					1	1	
Ⅴ 運営の効率化	1 ICTを活用した情報の共有化	① 学園ネットワーク整備による情報の共有化	1	1						1
	2 定例化した行事の検証と再構築	① 定例化した行事の検証と再構築	1		1					1
計			18	3	5	6	0	0	4	18

組織名称	学 園 本 部
------	---------

基本計画	取組戦略	具体的な取組内容	施策数	評価						
				S	A	B	C	D	E	計
I 「経営力」の強化	1 定量的目標に基づく財政基盤の確立	① 事業活動収支計画の策定と実行	2	1	1					2
		② 適確な予算編成と厳格な予算執行	1		1					1
		③ 教育活動収入価格設定の検証と時宜改訂	3		2	1				3
		④ 外部資金増加策の検討と推進	1				1			1
	2 ICT環境整備による事務の効率化	① ネットシステム構築による事務処理の合理化	0							0
		② 学納金・寄付金納付サポートシステムの構築と稼働	1				1			1
		③ web出願システムの導入	1		1					1
	3 本部コンサルティング機能の充実	① 国際化推進体制の整備	3				3			3
		② 募集戦略の活性化	3		3					3
		③ 広報体制の強化	3			2	1			3
④ キャンパス・アメニティ向上への取り組み		2		2					2	
⑤ IRの有効活用		1			1				1	
II 「組織力」の増強	1 人事制度の見直し	① コース別人事制度の導入	1				1			1
		② キャリアパス導入による基準・条件を明確化	3				3			3
		③ 育成目標を明確にした計画的な人事異動の実施	1				1			1
		④ 有能なOB・OGの再雇用制度の構築	1				1			1
		⑤ ワークライフバランスの実現	3		2	1				3
	2 人材育成システムの構築	① 計画的な研修制度の確立	1				1			1
		② 資格取得時報奨金・自己啓発手当制度の導入	1				1			1
	3 ICT環境整備による意思決定・合意形成システムの構築	① 学園ネットワークによる通達・事務連絡システムの構築と稼働	1		1					1
		② ネット決裁システムの構築と稼働	1				1			1
	4 コンプライアンス意識の向上とリスク管理体制の強化	① コンプライアンス意識の更なる醸成	1		1					1
		② リスク管理体制の構築と強化	3				3			3
	III 「連携力」の構築	1 企業・行政・地域社会との連携強化	① 地域創生への貢献	1			1			
2 卒業生・保護者との連携強化		① 同窓会・後援会との連携強化	1				1			1
3 本部・設置校間の連携強化		① 本部・設置校間の連携強化サポート	3		2	1				3
4 他校との連携強化		① 高大連携協定の締結促進	0							0
		② 国内外日本語学校との協定支援	0							0
IV 「環境力」の充実	1 教育施設の充実	① 学園施設設備投資計画の策定	2	2						2
		② 施設マネジメント体制の構築	2			2				2
		③ エコキャンパス・バリアフリー・耐震補強改修事業の推進	1		1					1
	2 ICT活用による学生支援システムの構築	① ポータルサイトを活用した学生向け情報揭示システムの導入	1		1					1
V 「改革力」の創出	1 新規事業による収益事業の創出	① 法人設立による外部流出コストの内生化	0							0
		② 学園オリジナルグッズ展開による認知度向上	1				1			1
		③ 所有資産を活用した収益事業の創出	1			1				1
	2 大学・短大の学部・学科の改組・新設の検討	① 地域社会に対応した学部・学科の創設検討	3				3			3
		② 通信教育部門の創設検討	1				1			1
		③ 生涯学習センターを活用した生涯教育の充実	1		1					1
	3 幼保連携の検討継続	① 幼・保施策の情報収集	0							0
計			56	3	18	14	21	0	0	56

V 財務の概要

1. 令和3年度決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務概況を前年度決算額と対比し、主な増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

令和3年度は第3次経営計画（志學館学園未来計画2016－2021）の最終年度であり、経常収支差額は321,035千円（前年比△6,023千円）、経常収支差額比率は8.7%（前年比△0.3P）となった。

収入及び支出の科目詳細については、下記のとおりである。

（教育活動収支）

〔収入〕 学生生徒園児数に関しては、中高等部・幼稚園で前年比78名減少したが、大学・短大で58名増加した為、学生生徒納付金は+8,742千円となった。経常費補助金は、短大の定員充足率向上に伴う一般補助の増加等により、+6,628千円となった。付随事業収入は受託事業収入及び保育所収入の増加等により+27,641千円、雑収入は退職金財団交付金の増加等により+50,986千円となった。

この結果、教育活動収入の合計は+90,360千円で3,699,301千円となった。

〔支出〕 人件費は、退職金及び退職給与引当金繰入額の増加等により+73,301千円、教育研究経費は、本年度受審した認証評価料（大学、短大）5,005千円や、建物補修関係の修繕費7,876千円等の増加により+12,432千円、管理経費は、前年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で未執行の募集広報活動を本年度は積極的に展開したこと等により+10,154千円となった。

この結果、教育活動支出の合計は+92,726千円で3,385,689千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△2,365千円で313,612千円となった。

（教育活動外収支）

教育活動外収支差額は、収益事業収入の減少等により△3,657千円で7,423千円となった。

（経常収支差額）

経常収支差額は、△6,023千円で321,035千円となった。

（特別収支）

特別収支差額は、建物処分差額等により、△14,295千円となった。

（基本金組入前当年度収支差額）

事業活動収入は+44,804千円で3,736,746千円、事業活動支出は+23,691千円で3,430,006千円、基本金組入前当年度収支差額は+21,113千円で306,740千円となった。

財務比率に関しては、経常収支差額比率8.7%（△0.3P）、事業活動収支差額比率8.2%

(+0.5P)、人件費比率 56.3% (+0.7P)、教育研究経費比率 29.0% (Δ 0.4P)、管理経費比率 5.9% (+0.1P) で、定量的経営判断指標はA 3 となった。

【資金収支計算書】

(収入の部) 資産売却収入は、コロナ禍とウクライナ侵攻により株式相場が不安定な為、反復売買の運用頻度は減少し Δ 937,835 千円となった。借入金等収入は、大学 40 周年記念館建設の為 400,000 千円の長期借入を実行した。前受金収入は、前年度の在学生前期納付金一部前倒し発送分との差異により Δ 59,442 千円、その他収入は前期末未収入金の減少等により Δ 29,138 千円、これらにより収入の部合計は+125,026 千円で 7,020,586 千円となった。

(支出の部) 人件費支出は退職金支出の増加等により+69,453 千円、施設・設備関係支出は大学 40 周年記念館建設及びカフェテリア増築等により+634,583 千円、資産運用支出は相場が不安定な為有価証券の購入を控えたことにより Δ 599,257 千円、その他の支出は前期末未払金支出の減少等により Δ 38,382 千円、これらにより支出の合計は+157,210 千円で 4,704,583 千円となった。

この結果、翌年度繰越支払資金は Δ 32,184 千円で 2,316,003 千円となった。

【貸借対照表】

固定資産は大学 40 周年記念館建設及びカフェテリア増築等により+514,070 千円、流動資産は有価証券の売却等により+91,985 千円となった。

この結果、資産の部合計は+606,056 千円で 17,315,623 千円となった。

負債の部合計は、大学 40 周年記念館建設資金に充てた長期借入 400,000 千円が増加となった一方で、長期未払金や前受金の減少等により+299,316 千円で 1,928,936 千円となった。

基本金は、今年度取得した施設設備の第 1 号基本金組入により+500,184 千円で 19,070,758 千円となった。

学園の財産状況については、純資産増加+306,740 千円で 15,386,687 千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率 88.9% (Δ 1.3P)、流動比率 413.0% (+15.4P)、前受金保有率 772.3% (+126.0P)、積立率 43.4% (Δ 0.9P) となった。

【経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策】

第3次経営計画（志學館学園未来計画 2016－2021）の6年間、学園の財務は263百万円～401百万円（年平均344百万円）の経常収支差額を確保し、定量的経営判断指標では正常状態のA3を維持している。

学校別では、6ヶ年で大学の学生数は316名増加、短大の学生数は255名減少した。

大学は定員充足率100%を超過し、安定した収益を上げ、学園の財務の中核を担っている。

短大の財務は、2019(令和元)年度より3年間支出超過となったが、募集強化や学生定員の変更等により、2022(令和4)年度の経常収支差額はプラスへ改善する見通しである。

一方、中等部は51名減少し、2018(平成30)年度以降は支出超過が続いており、収益の低下が著しい為、設置校間で偏りが無い様に、バランスの良い健全な財務体質を構築することが、今後の課題である。

学園全体で募集広報活動に注力し、採択制の補助金、寄付金、事業収入など、あらゆる収入増加方策を図り、経費の見直しに伴う支出の削減と効率化は今後も継続的に推進する。

第4次経営計画（志學館学園未来計画 2022－2027）においては、学生・生徒・園児の確保を第一に、施設設備拡充の資金積立強化を図り、安定した財務運営を目指す方針である。

① 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

		勘定科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	2,440,609	2,397,134	2,420,988	2,487,316	2,496,058
		手数料	35,412	36,121	37,590	35,012	35,962
		寄付金	44,209	2,285	18,423	6,477	1,890
		経常費補助金	931,912	924,522	805,682	877,742	884,370
		付随事業収入	131,708	122,482	116,435	103,874	131,515
		雑収入	234,153	128,402	131,217	98,520	149,506
		収入計 ①	3,818,003	3,610,946	3,530,335	3,608,941	3,699,301
	教育活動支出	人件費	2,167,253	2,043,858	2,061,328	2,014,209	2,087,510
		教育研究経費	995,963	972,004	974,434	1,064,208	1,076,640
		管理経費	252,892	236,019	234,936	208,539	218,693
		徴収不能等	7,055	1,913	4,268	6,007	2,846
		支出計 ②	3,423,163	3,253,794	3,274,966	3,292,963	3,385,689
		教育活動収支差額 ①-②	394,840	357,152	255,369	315,978	313,612
	教育活動外収入	受取利息・配当金	1,520	2,519	4,411	6,448	6,433
		収益事業収入	8,781	8,945	5,813	5,958	3,456
		収入計 ③	10,301	11,464	10,224	12,406	9,889
	教育活動外支出	借入金等利息	3,780	2,494	1,728	1,326	2,466
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		支出計 ④	3,780	2,494	1,728	1,326	2,466
		教育活動外収支差額 ③-④	6,521	8,970	8,496	11,080	7,423
	経常収支差額	401,361	366,122	263,865	327,058	321,035	

特別収支	特別収入	資産売却差額	9,135	19,775	0	52,764	9,349
		現物寄付	4,366	2,934	2,523	3,250	2,454
		施設設備補助金	4,948	22,227	7,448	14,581	15,753
		過年度修正額	0	0	505	0	0
		収入計 ⑤	18,449	44,936	10,476	70,595	27,556
	特別支出	資産処分差額	378,998	31,424	78,919	83,668	36,583
		過年度修正額	0	2,730	4,298	28,358	5,268
		支出計 ⑥	378,998	34,154	83,217	112,026	41,851
		特別収支差額 ⑤-⑥	△ 360,549	10,782	△ 72,741	△ 41,431	△ 14,295

経常収入 計	3,828,304	3,622,410	3,540,559	3,621,347	3,709,190
経常支出 計	3,426,943	3,256,288	3,276,694	3,294,289	3,388,155
事業活動収入 計	3,846,753	3,667,346	3,551,035	3,691,942	3,736,746
事業活動支出 計	3,805,941	3,290,442	3,359,911	3,406,315	3,430,006

基本金組入前当年度収支差額	40,812	376,904	191,124	285,627	306,740
---------------	--------	---------	---------	---------	---------

イ) 財務比率の経年比較

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常収支差額比率	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%	8.7%
事業活動収支差額比率	1.1%	10.3%	5.4%	7.7%	8.2%
人件費比率	56.6%	56.4%	58.2%	55.6%	56.3%
教育研究経費比率	26.0%	26.8%	27.5%	29.4%	29.0%
管理経費比率	6.6%	6.5%	6.6%	5.8%	5.9%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

勘定科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	2,440,609	2,397,134	2,420,988	2,487,316	2,496,058
手数料収入	35,412	36,121	37,590	35,012	35,962
寄付金収入	44,209	2,285	18,423	6,478	1,890
補助金収入	936,860	946,749	813,130	892,323	900,123
資産売却収入	322,787	569,544	0	1,346,661	408,826
付随事業・収益事業収入	140,489	131,427	121,089	108,368	135,087
受取利息・配当金収入	1,520	2,519	4,410	6,448	6,433
雑収入	234,153	128,402	131,217	98,520	149,396
借入金等収入	0	0	0	78,100	634,000
前受金収入	412,532	395,611	375,165	418,302	358,860
その他の収入	298,471	254,047	138,089	161,123	131,985
資金収入調整勘定	△ 690,462	△ 552,906	△ 552,330	△ 509,031	△ 586,221
前年度繰越支払資金	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187
収入の部 合計	5,317,534	5,569,356	5,266,369	6,895,560	7,020,586
人件費支出	2,194,983	2,047,661	2,093,587	2,018,841	2,088,294
教育研究経費支出	662,961	630,131	640,663	757,560	742,215
管理経費支出	197,404	189,134	186,859	152,407	164,277
借入金等利息支出	3,780	2,494	1,728	1,326	2,466
借入金等返済支出	180,000	180,000	70,000	148,100	259,000
施設関係支出	470,069	161,126	75,411	200,625	860,752
設備関係支出	111,003	140,158	116,528	101,740	76,196
資産運用支出	299,523	299,871	294,553	1,098,911	499,654
その他の支出	245,686	338,687	238,876	234,940	196,558
資金支出調整勘定	△ 306,298	△ 178,504	△ 217,776	△ 167,077	△ 184,829
翌年度繰越支払資金	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,003
支出の部 合計	5,317,534	5,569,356	5,266,369	6,895,560	7,020,586

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

単位：千円

科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,818,003	3,610,946	3,529,176	3,607,478	3,699,308
教育活動資金支出計	3,055,349	2,864,196	2,916,876	2,928,808	2,994,786
差引	762,654	746,750	612,300	678,670	704,522
調整勘定等	△ 17,042	△ 44,872	△ 48,026	15,408	△ 34,821
教育活動資金収支差額	745,612	701,877	564,274	694,078	669,701
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	193,358	22,227	7,448	14,581	15,753
施設整備等活動資金支出計	581,072	301,284	191,940	302,365	936,947
差引	△ 387,714	△ 279,057	△ 184,492	△ 287,784	△ 921,194
調整勘定等	△ 19,926	△ 19,118	△ 11,798	△ 21,474	△ 68,028
施設整備等活動資金収支差額	△ 407,640	△ 298,175	△ 196,290	△ 309,258	△ 989,223
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	337,971	403,702	367,985	384,820	△ 319,522
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	265,133	581,749	12,161	1,447,715	1,052,714
その他の活動資金支出計	485,634	485,276	372,803	1,250,288	765,376
差引	△ 220,502	96,473	△ 360,642	197,427	287,339
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 220,502	96,473	△ 360,642	197,427	287,339
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	117,469	500,175	7,343	582,247	△ 32,183
前年度繰越支払資金	1,140,954	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187
翌年度繰越支払資金	1,258,423	1,758,598	1,765,940	2,348,187	2,316,004

ウ) 財務比率の経年比較

教育活動資金収支差額比率	19.5%	19.4%	16.0%	19.2%	18.1%
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

③ 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

単位：千円

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定資産	14,588,758	14,470,197	14,200,286	14,031,145	14,545,215
有形固定資産	14,295,113	14,158,746	13,901,140	13,744,505	14,283,037
特定資産	227,751	227,753	227,754	227,756	227,758
その他の固定資産	65,894	83,698	71,392	58,884	34,420
流動資産	1,815,431	1,950,699	2,310,797	2,678,422	2,770,407
資産の部合計	16,404,189	16,420,896	16,511,083	16,709,567	17,315,622

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
固定負債	1,219,039	1,125,141	1,009,463	954,638	1,257,477
流動負債	958,858	692,559	707,300	674,982	671,459
負債の部合計	2,177,897	1,817,700	1,716,763	1,629,620	1,928,936

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
第1号基本金	17,834,846	18,089,783	18,190,885	18,282,739	18,782,923
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	49,835	49,835	49,835	49,835	49,835
第4号基本金	238,000	238,000	238,000	238,000	238,000
基本金の部合計	18,122,681	18,377,618	18,478,720	18,570,574	19,070,758

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
翌年度繰越収支差額	△ 3,896,389	△ 3,774,422	△ 3,684,400	△ 3,490,627	△ 3,684,071

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
純資産の部合計	14,226,292	14,603,196	14,794,320	15,079,947	15,386,686

負債及び純資産の部合計	16,404,189	16,420,896	16,511,083	16,709,567	17,315,622
-------------	------------	------------	------------	------------	------------

イ) 財務比率の経年比較

財務比率	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
純資産構成比率	86.7%	88.9%	89.6%	90.2%	88.9%
流動比率	189.3%	281.7%	328.0%	397.6%	413.0%
前受金保有率	427.6%	509.2%	617.4%	646.3%	772.3%
積立率	32.1%	35.6%	39.2%	44.3%	43.4%

※前受金保有率は、修正前前受金保有率（運用資産／前受金）を適用。

2. その他

単位：円

① 有価証券の状況

有価証券の種類	簿価	時価	差異
債券	99,562,500	100,137,500	575,000
株式	27,926,495	20,050,000	△ 7,876,495
投資信託	100,175,958	99,722,250	△ 453,708
合 計	227,664,953	219,909,750	△ 7,755,203

② 借入金の状況

借入先	期末残高	利率	返済期限
鹿児島銀行	100,000,000	0.85%	令和8年3月30日
鹿児島銀行	400,000,000	0.828%	令和14年3月31日
合 計	500,000,000		

③ 寄付金の状況

寄付金の種類	寄付金額
一般寄付金	810,900
特別寄付金	1,079,845
現物寄付金	2,453,367
合 計	4,344,112

④ 補助金の状況

補助金種別	補助金額
国庫補助金	500,506,100
(内、経常費補助金)	(302,125,000)
(内、修学支援交付金)	(198,381,100)
県補助金	352,513,614
市補助金	31,350,058
施設設備補助金	15,753,000
合 計	900,122,772

⑤ 収益事業

売上高	12,890,952
売上原価	133,610
販売管理費	12,801,246
(内、学校会計繰入額)	(3,455,355)
法人税	362,000
当期純損失	405,873

3. 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

令和3(2021)年度

志学館学園 経営判断指標判定表

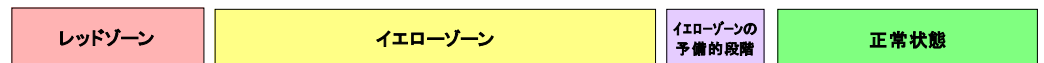
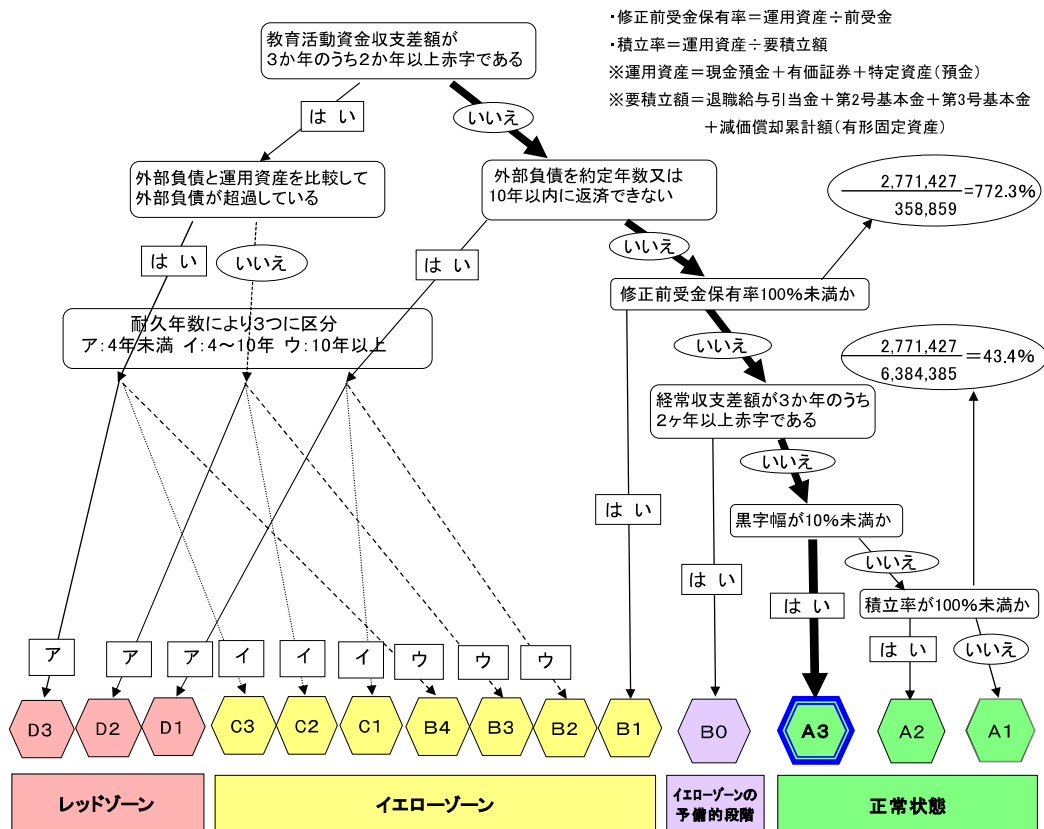
判定		A2	A2	A3	A3	A3
(単位:千円)						
I 教育活動資金収支差額		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	教育活動資金収入(A)	3,818,003	3,610,945	3,529,176	3,607,478	3,699,309
	教育活動資金支出(B)	3,072,391	2,909,068	2,964,902	2,913,400	3,029,608
	C=A-B	745,612	701,877	564,274	694,078	669,701
	教育活動資金収支差額比率C/A	19.5%	19.4%	16.0%	19.2%	18.1%
判定		○	○	○	○	○
II 運用資産と外部負債の関係		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	運用資産(D)	1,764,000	2,014,277	2,316,172	2,703,433	2,771,427
	外部負債(E)	886,240	546,198	496,030	360,235	723,013
	F=D-E	877,760	1,468,079	1,820,142	2,343,198	2,048,414
	C>0且つF<0の時 F÷C(単位:年)	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***	C>0且つF>0 ***
III 経常収支差額		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	経常収入(G)	3,828,304	3,622,410	3,540,559	3,621,347	3,709,190
	経常収支差額(H)	401,361	366,122	263,865	327,058	321,035
	経常収支差額比率(H/G)	10.5%	10.1%	7.5%	9.0%	8.7%
判定		○	○	○	○	○

注1) 定量的な経営判断指標は平成24年度に精緻化され、7区分から14区分へ変更になった。

注2) 新会計基準に基づき、平成27年度より下記の2点の変更となった。

【変更点】①(旧)教育研究活動CF ⇒ (新)教育活動資金収支差額

②帰属収支差額(資産売却差額、資産処分差額を除く) ⇒ 経常収支差額



◆ 学校法人会計 及び 用語について (解説) ◆

学校法人会計は、その事業目的において公共性が高く、企業の様に営利を追求するものではないため、企業会計とは異なる学校法人会計という会計形態をとっており、学校法人の収入は極めて制約的で、増加を図ることが難しい財政構造となっている。学校法人が事業の永続性と財政の健全性を維持していくためには、長期的な視野に立った事業計画と、それを裏付ける収支均衡の取れた財政計画が必要となる。学校法人はそれを踏まえ予算に基づいた運営をしなければならず、予算と決算の差異が重視される計算書様式となっており、学校が永続性を確保するための収支均衡状態を目指すのに適した会計制度となっている。

【資金収支計算書】

・当該会計年度（4月1日～3月31日）に行った諸活動に対する全ての収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金預金等）の顛末を明らかにするものである。

資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に近いもので、前年度から繰り越された支払資金を基に、当年度の収支の結果、翌年度に繰り越される支払資金が確定する計算体系になっている。

【事業活動収支計算書】

・当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表す（収支バランスを捉える）ものである。資金の増減を伴わない取引（引当金、減価償却費等）は計上されるが、資本的支出（固定資産取得等）に充てる額は除いて計上する。本業である「教育活動収支」、本業外である「教育活動外収支」、臨時的な「特別収支」の3区分で収支の状況を把握し、分析することができる。

【貸借対照表】

・当該年度末（3月31日）時点での資産・負債・基本金の状況を表し、財政状況を明らかにするものである。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支状況を表す一方、貸借対照表はこれまでの財政活動における積み重ね（累積）の結果を表示する。

【経常収支差額】

・臨時的な特別収支を除く、経常的な収支バランスを表すもの。経常収支差額比率は、学校経営における利益の判断基準である。

【基本金】


- ・学校法人の機能を維持し、安定的かつ永続的に経営することを目指すために組み入れる。
- 第1号基本金・・・校地、校舎、機器備品、図書等の自己資金による固定資産の取得価額
- 第2号基本金・・・将来の固定資産取得に充てる為の施設設備投資額（計画的に組み入れる）
- 第3号基本金・・・基金として継続的に保持・運用する金額（本学園は奨学金基金）
- 第4号基本金・・・恒常的な支払資金に対応する運転資金額（文部科学大臣の定める額）

監 査 報 告 書

令和4年5月19日

学校法人志學館学園
理 事 会 御 中

学校法人 志學館学園

監 事 大 津 学 

監 事 久 永 修 平 

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人志學館学園の寄附行為第15条の規定に従い、学校法人志學館学園の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上